

吹

雲

集

集

集

集

集

集

集

集

集



童蒙教授本

改正地方往來

東京 綱基房藏板

地方凡例

一 永壹貫文ハ金壹兩ナリ

一 田地

壹町 三千坪

壹反 三百坪

壹畝 三十坪

古檢ハ壹反三百六十坪ニテ間竿モ六尺三寸ヲ用ル所アリ

一 石盛ハ地ノ位ニシテ上田壹歩ニ粃壹升取ト見レハ壹反ニ

粃三石ナリ此粃五合ノ摺立トシテ壹石五斗トナル則チ壹

反ハ高壹石五斗ノ石盛ナリ

免ハ五ツニ當ル地味劣レハ下ニ田蕪田林畑切畑開畑ナト

イハ石盛モ三ツニツ位モアリ斗代トイフモ石盛トヲナシ

一 町ハ畝歩ハ石盛ヲ懸テ米ヲ見ルヲ分ル

也

已

一 取二テ萬ヲ割レハ九幾ツト知ル、ナリ
 一 高石ニ附六尺給米ハ米二斗、御藏前入用ハ永二百五
 十文、御傳馬宿入用ハ米六斗、懸ル是ヲ三役トイフ
 夫金夫米懸レハ六尺給米カ、テ又也私領ワタリニナレハ
 三役ハ取立ス夫金夫米等ヲ懸ル
 一 斗立ハ米三斗五升ニ二升ツ、懸ル本石へ三斗七升ヲ懸
 ケ三斗五升ニテ割ル出目米モ同シ
 一 口米ハ三斗五升ニ壹升ツ、懸ル本米ヲ三五ニテ割テ知ル
 一 檢見色取ノ法ハ三合毛又ハ二合毛壹合毛ト一筆限リ二内
 見帳ニ寄立ル所ヲ毛揃トイフ附、初ノコトナリ
字何
井番
 一 上庄壹町、日月ニ合毛 西五合
日主
行

一 下田壹町、見ニ合毛 又三合
 右内見三合毛ト二合ト、改以 夕也是ヲ壹
 町壹反トヲ三ヲ懸ラ坪ニ直シ壹、懸ケレハ刈出
 四石九斗五升ト十石是ニ附出、九石六斗ヲ加へ十四石五
 斗五升ト十石是ヲ四ツ割ニシテ取米三石六斗三升七合五
 夕トナルテ減分時ノ見ハカラヒナリ、附
 一 五里外駄賃トイフハ村方ヨリ五里内ハ村役ニテ持出ス夫
 ヨリ水ハ駄賃下ナル
 一 竈依ハ惣表ノ内ヨリ船頭竈ヲイレ三十六俵撰出シ、貫付
 一 ヶ部ヶ五分一ヲ抜出シ俵入ノ平均ヲ見ル譬ハ
 一 三十一六俵 内十三俵 此五分三俵 廿二目
 拾壹表 此五分二俵 廿二目
 廿二目
 廿二目

七俵平均毎目廿壹頁五百目亦廻五

ト六尺走コ袋箱入著岸ノ目當シ欠減ヲ知ル

一 粮米ハ松方上垂庄屋船中ノ飯米十リ具ハ

一 海内ヨリ沈ミ俵ヲ懸アケタルモノハ其米高ノ三十分

ヲ遣スナリ

一 御廻米ト運賃米ト仕訳ル法

高尺四十八石九斗六升此内運賃米壹石二附米二升ツ

リル法一令貳ニテ高米四十八石九斗六升ヲ割レハ御廻米

四十八石ト出ルコレハ二ヲカケテ運賃米九斗六升ト知ル

コトナリ

一 買納ニハ百表ニ附番品代錢十四文ツ、先五枚壹枚ノ

代錢十

一切下石ト

貫内ノ節意又ハ附米

差加ル事也

一 細太餅ハ代米三割ニリ即壹升ニ附壹升ニ合ソ、渡ス

一 荏大豆代米ハ壹斗ニ附代米五升

一 口永ハ永壹貫文ニ永三十文ツ、懸ル

一 包分銀ハ金百兩ニ附銀五匁ツ、也

一 秤筭 長五間 差渡壹尺七寸此石坪三合壹タ七才

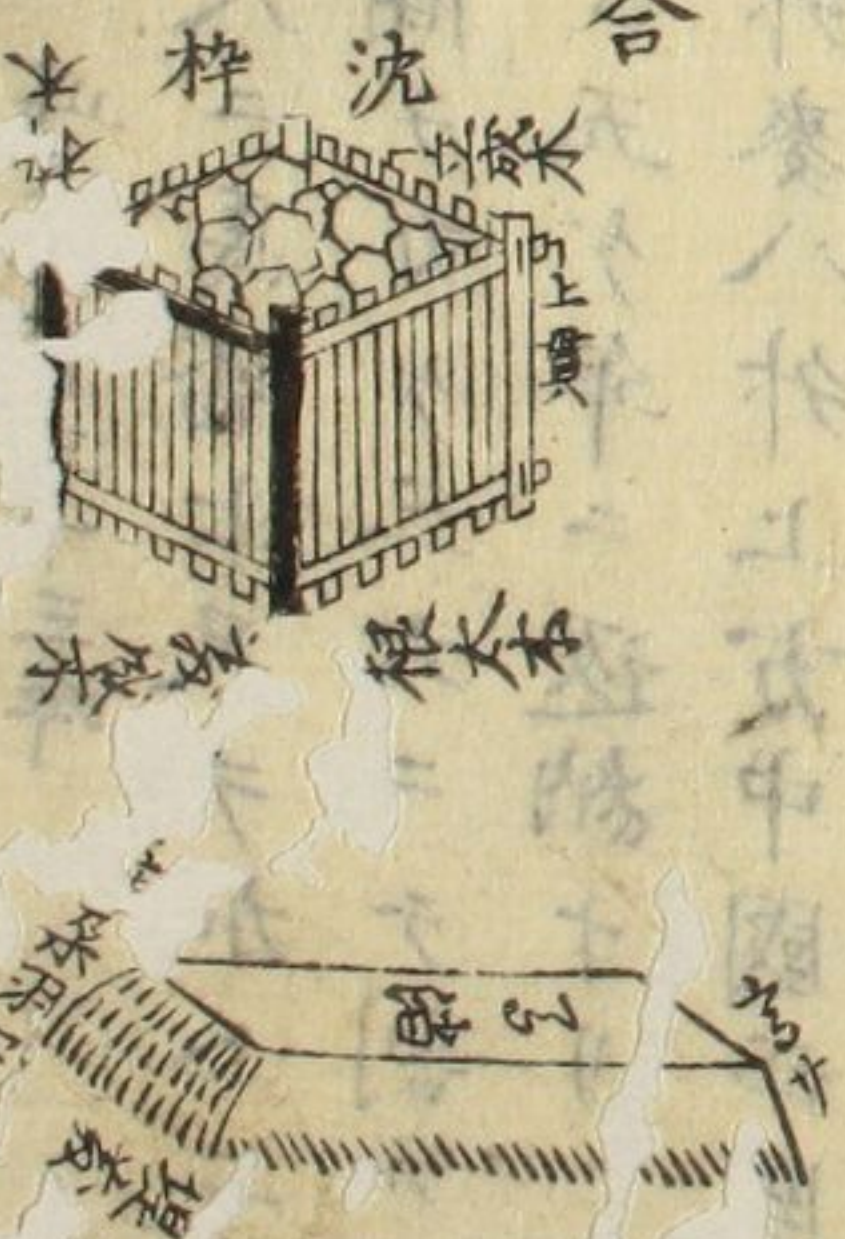
一 算法ハ壹尺七寸ヲ懸ケ合セ圓法七九ヲ懸ケ長五間ヲカケ

一 三六ニテ割ルナリ

一 沈秤 内去高四尺三寸 壹丈壹尺方 此石二坪四合

一 壹丈壹尺方懸ケ合セ四尺

一 三十ヲカケ二百六ニ割ル



八拾間

平坊

馬踏七尺

此六二五三坪

箕江ハ敷八間ヲ六ニシテ四丈八尺ニ馬踏七尺ヲ加ヘ二

ニ割レテ壹丈七尺ヲ懸ケ長八拾間ヲカケ三六ニテ割ル

一 小屋掛ハ壹軒ニ附大俵金三分ツ、五ヶ年ニ返納ナリ

一 種籾麥關東甲州伊豆ハ及ニ籾七外麥八外上方中國西原ハ

三升五合北國ハ九升符ナリ三割ノ利ヲカヘテ貸スナリ

一 夫ハ男ハ一日籾四合六十歳以上十五歳以下ノ女ハ一日

一 籾二合ツ、凡三十日分貸ス

一 又ハ長二間此尺九分五厘六毛

一 術ニ目通ヲ三一六ニテ割リ是ヲ下ニイテ懸合七目通

一 リヨリ上壹間ニ附、細ハ切實法ヲ合セ五ヲ懸ケ

懸ケセハ九ヲ懸

二ニテ割ル

一 貫目長棒ハ籠人足六人但駕籠目方手道具トモ合テ二拾四

貫目ヲ越ヘカラス

一 切棒駕籠人足四人但駕籠目方手道具トモ合テ拾二貫目ヲ

越ヘカラス

一 垂駕籠人足三人但駕籠目方手道具トモ合テ六貫目ヲ越ヘ

カラス

一 宿駕籠人足二人五分

一 長持兩掛笠籠其外諸荷物ハ都テ人足壹人七貫目持ノ定ニ

附七貫七百目ハ壹人壹分拾貫五百目ハ壹人半拾四貫ハ二

人ノ寄合ニテ以荷物ノ量目ニ随ヒ相定貫改齊ノ札相渡

一 貸金利足ノ割壹ヶ月金壹分ノ利ニテ金拾兩ハ三割金拾五

割金二拾兩ハ壹割五分金三拾兩ハ壹割金六拾兩ハ

二分

一 術二三兩ト置高金ニテ割レハ何割ト知ル

一 壹ヶ月ノ利足ヲ見ル法ハ二拾兩ニ壹分ノ利ハ壹割五分也

一 壹割五分ト置法ニニテ割レハ壹ヶ月壹兩ノ利分銀七分五

厘ト知ルナリ

一 利足何拾兩壹分ニ當ルトイフヲ知ルニハ壹ヶ月金壹兩ニ

附利銀七分五厘十レハ七分五厘ニテ法拾五又ヲ割レハ金

一 二拾兩ト出ル則チ二拾兩ニ附壹ヶ月金壹分ノ利足ト知ル

ナリ

一 錢百文ニ白米壹升ニ合ノ時五合ハ何ノ割ト知ル

答四拾文

一 法ニ九十六分ニ壹分ニ合ニテ割レハ八十分ニ是ヲ法

ニシテ五合ハカケレハ知ル

一 一切畝トイフハ水帳ノ反トノ蠲免ヲ勝手ヲ以テ五畝ト外

一 質入々々ハ讓渡スルナリ

一 質地ハ年季十ヶ年ヲ限ル置主直ニ其田地ヲ小作スルヲ直

一 小作トイフ外ハ預ケ作ラセルヲ名田小作トイフニ拾ヶ年

一 以テ小作スルヲ永小作トイフ地主タリトモ子細ナク地所

一 ヲ取止ル事成カクシテハ、大所、英當ハ永小作トイフ

一 一御年貢諸役置主ヨリ勤ルヲ頼納トイフ不埒ニ當ル

一 一名主真印ノ大キ質地證文利足ハ定メ等アルハ質地ニ此

一 小作證文ナキモ同シ事ナリ

一 一隱田ハ檢地ノ時察内イタサスカクシ置コトニテ重キ御法

一 開トイフハ有来ノ田畑ノ續ヘ別ニ新日開發致シ置ク
 一 田中ハ餘地ハ田内トシテハ
 一切添下イフハ古田畑ノ地續ヲ切廣ケテ抱ヘ込ニ置クトイフ
 一 田除普請ハ功者ノ代ル事ナリ尺木牛棚牛ハ砂石川小川ニ
 一 用ニ笈牛モ大河ニ益少シ谷川ノ欠留マタハ用水堰込ニ片
 ヒテ功アリ聖牛麥牛等ノ大河ノ突當ル所水別ニ用ニ沈梓
 ハ水房キ處ナカレ早キ所ニ用ニ其沈ムヘキ所ニ梓ヲ存ス
 石ヲ投入ヘシ功者ノ普請ハ出水ニ破損シテモ水ヲ刻手瀬
 移スモナリ田除ノ名ニ甲州ニテ信玄公ノ時代ニ始リ
 能ク牛梓等遣ヒ得タリ享保ノ頃日ノ諸國ニテ用ヒシトイ
 一 田畑トイフハ水田トイフハ
 一 田中ハ餘地ハ田内トシテハ

地方往來

凡地事檢地

を際要トシ換地

田地乃反別と改テ



なる先六尺産歩
 の間竿と以て一五を
 三百坪と定めて新
 田一畝費新聞改出

室河室地芝地起
 返比代金垂上納塩抜
 濕抜能下成作と所
 高入石盛免合と地

此瘦腴應向中
 田下田沃白土水掛
 乃良否小培の上細
 中細ら細を多ら斗代

分米并筋筋溝代意地
 高世々る代を公平
 筋一。其物中手晩来
 糲苗庭庭毛突入穢

石首掛物その古戸ふる給米出たまひ

目延米のべ口米くち斗は立夫たて

金きん古米ふる斗は立夫たて

位き米きたり依よ借か又また

檢見けんをを區長く戸長こ

組頭くみ百姓ひやく總代そう田主でん

立會たち之あ筆ひ限ひ每田まい番ばん

附づけ之た札ふ印い上かみ中な下しも此こゝ

立毛を字の肉見合

附毛探時と云青立

虫附立粘仕附さぬ

逐々お改り了。春

法器械牙るふ山繩

蕤繩樹箕筈を備へ

坪刈帳より田んぼ

そこの名及び樹を改

出合を記し。田水利
 暇人連即き了。水換
 早損等にて定免過
 三分以上乃損免を

破免を相互新規定
 免を互に記すこと
 受免を記免を記す
 本年途見取法

地
 一
 六

六

河原石代迄
ひきもどく 石代迄 こくたい 迄 さだ

金納と
きん 納 なう と ねづ 取箇 おん 取箇 とり 箇 か

刻附
こり 附 つけ 以 い 濟 せい 目 め 埴 ろく 埴 ろく 埴 ろく

巻首
まき 首 あ 地 ち 起 おき 迄 うり 免 めん 上 あげ

切添切
きり 添 そへ 切 きり 開 あ 相 あ 田 ち 末 すえ 屋 や

者成
しき 成 なり 作 あ 隠 かん 田 ち 反 たん 高 たか

相改
あひ 改 あら 幼 こ る る 並 な 居 い 並 な 末 すえ 郷 ごう

庫
ぐら 野 の 穀 こく 園 う 籾 も 末 すえ 者 もの

地方往來

七

手新穀を引替日廻
奉を。上中下就定之。
手印奉々米俵撮
林廻五里外駐儀を拂

ひ在河廻西海廻日
和成見定之。免津口出
帆送状并船中日記
右月廻入津浦船の

也

節を。浦役人より。又
 を取ると。若くは。岸積り。所
 揃之。園儀。母目掛
 政免。船足。之。主。松印。限

子。精。之。納。里。心。之。念
 新。船。中。能。く。動。試
 附。之。様。儀。を。袋。箱。入
 海。上。雜。風。破。船。亦。乃

言^{せり}の[。]ま[。]其[。]の[。]浦^らを[。]於[。]て[。]陣[。]
 屋^やの[。]邊[。]を[。]し[。]水[。]船[。]冷[。]入[。]
 夕[。]入[。]樁[。]杭[。]お[。]お[。]碇[。]網[。]
 切[。]拂[。]心[。]布[。]欠[。]粮[。]米[。]諸[。]

道[。]具[。]投[。]捨[。]船[。]足[。]を[。]輕[。]
 免[。]船[。]活[。]楫[。]取[。]水[。]主[。]炊[。]
 乘[。]組[。]之[。]音[。]新[。]酒[。]名[。]厚[。]
 首[。]物[。]隆[。]揚[。]了[。]濡[。]

澤子 皚之 腐臭 痛汗
さわて うび くさり ぶけ つとみ けり
 之 再 積 廻 或 其
たれ さい せき かい あり その
 所 於 之 沙 拂 下 入 札
ところ かん ほうひ せき ふうけつ
 釋 坊 見 多 号 及 收 負 之
せつぼう けん ぶん しょう かくあん の

招 團 之 任 之 一 納 不 之
あし づ たい ひと ひと おとめ ぶん ぞく
 恒 者 官 店 出 米 本 買
かう せう かん くてん だ い ちの ほん かい
 納 切 下 石 船 渡 江 水
おとめ せきり さげ せき ぶね せき せき づ
 揚 由 掬 柳 田 細 餅 之
あけ さい せいりゅう ます ちやう ちの ちの ちの

餅もち夜よ大だい豆だい代だい米まい少おん法そり

紙がみ多おぬ股だん三さん圓えん塔ちやう口くち口ぐち

色いろ分ぶん浅せん夏なつ成なり枯かき成なり夏なつ夏なつ

作さく少こ物もの成なり山やま手て米まい少おん茶ちや

種たね蠟ろう之の身み漆うるし粟あわ稗ひえ炭すす

燒やき水みづ在ある油あぶら絞しぼり酢す物もの白せう油ゆ

酒しゆ造ぞう稼かせ積せき情じやうまま大おほ川かわ小こ

河が出い水で名な所ところ流なが失し堤つゑ

最良之式急被^ご口^ふ者^{しん}情^{じやう}

貝^{こく}論^り見^い輕^い就^{しや}劍^{うご}枕^{つひ}石^い

積^{たみ}欄^{らん}牛^{うし}泥^{つみ}敷^{しき}了^た智^ち後^ご

附^{つけ}土^ど取^{とり}葉^え唐^ら竹^{とけ}麻^ま乃^の采^{さい}

管^{くわん}之^の末^{まつ}茶^{ちや}孫^{そん}行^{ぎやう}柳^{りゆう}埴^じ布^ふ

板^{ばん}笠^{かさ}之^の末^{まつ}地^ぢ覆^{ふく}木^き易^い

本^{ほん}後^ご灯^{とう}録^{ろく}以^い梅^{ばい}之^の尻^{しり}板^{ばん}

兩^{りやう}袖^{そで}土^ど抱^{かか}柱^{ちゆう}扣^{ひか}木^き之^の攪^{かき}

大人之等凡債未結

持来溜井落之并符符

なるに債事之出火額

焼人馬怪事山屋掛袋

具代お借手お水と鉄

細細馬疥移扱肥桶

おろあり凶年不化病

難此節を種相及代

池田生来

飢夫良御うらふ じょうご 助助すけすけ 米頂こめ とう
 戴だ 笠かさ 等ら 乃の 借か 又また 山やま 林りん
 河か 林りん 雪ゆき 折をり 之の 枯か 山やま 苗なえ
 本もと 成なり 名な 伐き 透とお 海うみ を 賜たま
あま

助助すけすけ 郷人ごうじん 馬うま 倭やまと 船ふね 布ぬい
 了ま 經か 瓦わ 然しか つ 有あ 長なが 持もち
 兩りやう 掛がけ 骨こつ 目め 和わ 政せい 宰さい 領りやう
 附つ 添ま 注つ 連れん 後ご 錢せん 川かわ 越こ
つぎ そひ つう ちい と せん い ちえ ごと

掃除了地維之本陣

問屋當番此中お勤

心下。是又三事了訴

福を添竹間呼出裁判

昨日法省吟味酒定

其方對波對全濟

口市後まると遂け内清

了明有山海を地界

を定ぬ見分みぶん水澄みづすみ用もち

水場みづば跡あとと熟あゆ漬じ

里正むらをさ立たち合あひ會こ少あ前まへ一い回ころ

一いち年ねん紅こう連れん印いん以い多た一いち回ころ

地ち水みづ代たい常じょう切きり取と歩ぶ

所ところ制せい極ごく不ふたた有あ留りゅう地ち

一いち年ねん季きをを空そらのの地ち所ところ

字じ位ゐ首う有あるる別べつ号ごうをを

地方往來

十二

北の巻

水帳之照一區長戸

長乃奥印と取り流

地のおそるれを直小作

名田少代永小作宛米

作徳未進五名山換

元高物物海免年

延松塔の乃少子

且亦松使と庭免此證

也

一

死い溺ひ死い新しん作さく村むら之のり
 病びやう人にん未ま果くわ達たつ札さつ散さん埋まい
 新しん玉ぎよく又また至いた者もの知し者もの
 預よ留りゆう礙がい母ぼ只ただ於お瘡そう附つ

序しよ梅ばい路ろ自じ河か瘡そう江かう宮きやう
 佈ふ寺じ之の平へい瘡そう接せつ殺せつ
 雜ざつ用ゆうお掛か年ねん子し才さい免めん
 娘むすめ之の毒どく常じやう六りく下げ急きゆう度ど及及び也也

誠家^{まこと}の^{まこと}子^こ河^か部^べ頼^{より}信^{のぶ}
 將^{まさ}又^{また}孝^{たか}行^{ゆき}子^こ持^{もち}貴^き典^{のり}
 氏^{うぢ}或^{ある}九^{ここの}十^{じゅう}歳^{さい}以^{もつ}上^{かみ}養^{やし}
 先^{まへ}考^{こう}之^の音^{おと}月^{つき}農^{のう}業^{ぎやう}出^い於^{より}

以^{もつ}私^し内^{うち}睦^{むつ}者^{もの}由^{よし}於^{より}相^{あひ}也^{なり}
 以^{もつ}考^{こう}之^の音^{おと}月^{つき}農^{のう}業^{ぎやう}出^い於^{より}
 氏^{うぢ}或^{ある}九^{ここの}十^{じゅう}歳^{さい}以^{もつ}上^{かみ}養^{やし}
 先^{まへ}考^{こう}之^の音^{おと}月^{つき}農^{のう}業^{ぎやう}出^い於^{より}

恩澤おんたくのる者也のり

黒田くろた三さん

徳方とくかたは事ことの畢はつ

明治六年三月官許くわんきょ

同 七月上梓しゅじやうし

東京 綱基房藏板なづみぶらうざんぱん

